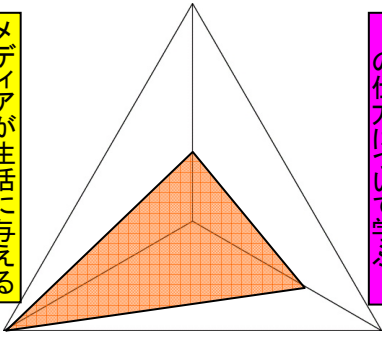


<b>パッケージ名</b>	「バラエティ番組の笑い」について考えよう！ （中学校）
<b>実践のねらい</b>	・バラエティ番組の「笑い」について意見交換をし、受け取り方によっては問題がある内容を含んでいる場合があることやバラエティ番組制作の背景について考えることができるようにする。
<b>この実践のメディアについて学ぶ</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p style="background-color: #00FFFF; padding: 5px;">メディアの特性と適切なメディアの選択の仕方について学ぶ</p>  </div> <div style="width: 65%;"> <p><b>実践の意図</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○想定する子どもの状況                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の話題の中心でもあるバラエティ番組。その内容の中には無条件で笑えないものも含まれている。普段目にしてる番組を分析的に見る力をつけさせたい。</li> </ul> </li> <li>○パッケージの目標                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達が一番よくみているバラエティ番組について、どんな箇所がおもしろいのか事前調査をし、話し合いの題材にすることで身近な題材について考えることができるようにする。</li> <li>・笑いをとる為の工夫や行き過ぎの部分についても考え、その背景についても考えることができるようにする。</li> </ul> </li> <li>○留意点                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師がバラエティ番組を否定したり、みることを禁止するような発言がないように考慮する。</li> </ul> </li> </ul> </div> </div>

受 = 情報の受け手としての知識を得る・配慮を知る     
 送 = 情報の送り手としての工夫・配慮を知る

**I. 番組を視聴する(5分)**

○ **事前調査した中で、1番人気がある番組を視聴しよう**

事前アンケート  
番組収録をビデオ等

- 受 担任が事前調査を行った結果をもとに、一番人気のある番組の一番おもしろいと答えたものを録画して見せる。
- (必ずしもアンケートをとる必要はなく、口頭で調査を行ってもよい。)
- 子ども達の話題の中でも、賛否両論があるもの、教師自身が問題ありと思った場面でもよい)

**II. 視聴した場面について意見を出し合う(10分)**

○ 「**おもしろいと思うところ**」「**おもしろくないと思うところ**」について**付箋に書こう**

模造紙  
(グループ分)  
付箋紙(一人5枚)

- 何度も繰り返し視聴しながら、書き上げていく。
- 受 一枚の模造紙を、「おもしろいと思うところ」「おもしろくないと思うところ」の二つに分けておき一人ひとりに付箋を配り、どの箇所が面白くどの箇所がおもしろくないのか書かせる。

**III. 「笑い」をとる為の工夫について考える(15分)**

○ 「**笑い**」をとる為の工夫、「**笑い**」をとる為に行き過ぎている場面について考えよう

- 受 「笑い」をとる為にどんな表現をしてあるのか意見をださせ、その場面について話し合いをする。
- ・行き過ぎの表現を中心に話し合う
  - ・ポイントとしては、受け手による受け取り方の違い ・出演者の意思 ・番組の意図について考えさせるようにする

**IV. 番組制作者側の立場になって考えてみよう(15分)**

○ **制作者の立場になって、なぜ「行き過ぎの表現」場面がつくられるのか考えよう**

- 受 意見が出ない場合には、番組にはスポンサーがついていること、視聴率について考えさせるようにする。
- (民間放送のテレビ番組は、スポンサーからの広告収入等で制作されているので、視聴率を上げて多くのスポンサー収入を得る必要があることを知る。視聴率を上げるためには、視聴者がより興味をもつような受けねらいの番組作りになってしまう場合があること。その中では人権を無視したような行き過ぎの表現がある場合も考えられることもポイントとして話しておきたい。)